



枚方市総合文化芸術センター

R4-No-2

おおさか環境にやさしい建築賞
プレゼンテーション

2023. 01. 20

NIKKEN
EXPERIENCE, INTEGRATED



建築概要

建築場所：大阪府枚方市新町二丁目1-60

地域地区：市街化区域、準防火地域、地区計画区域、枚方市緑化重点地区

建ぺい率：52.54%（許容80%）

容積率：106.71%（許容300%）

敷地面積：13,146.62m²

主要用途 劇場

建築面積：6,906.76m²

延床面積：14,383.75m²

階数：地下1階、地上5階、塔屋1階

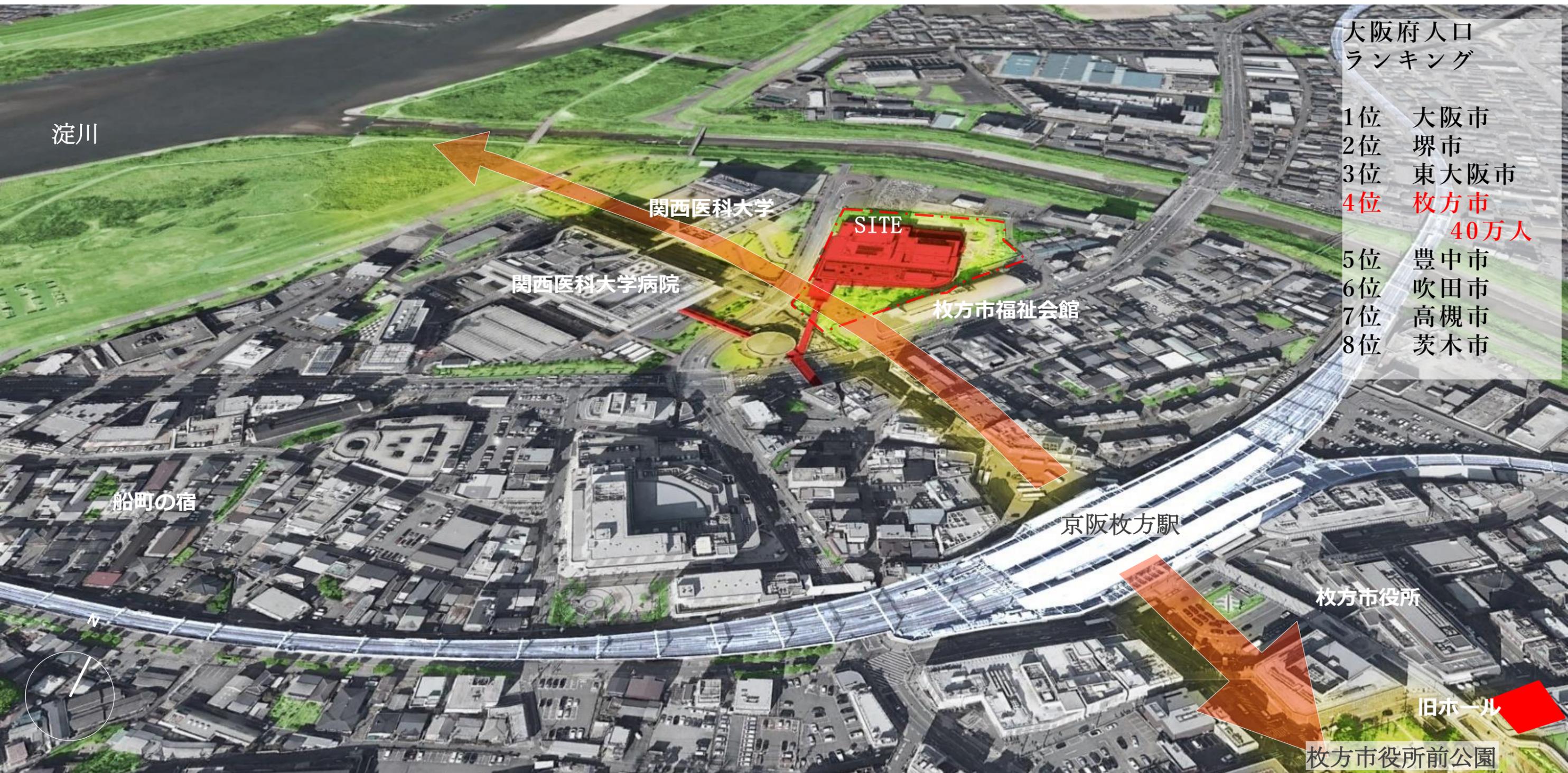
高さ：最高高さ29m、軒高28.2m、基準階高3.0m

構造：RC造、SRC造、S造

工事日程：2018年10月～2021年5月

市民ホールは地域性が色濃くでる建物 大阪府枚方市とは？

京阪電車で、大阪：30分 京都：30分



駅周辺市街地回遊の起点として

人と環境にやさしい建築 3つのテーマ

1. 緑と建築の融合
2. 必要最小限の無駄のないコンパクトな計画
3. 自然エネルギーと未利用エネルギーの有効利用



1. 緑と建築の融合

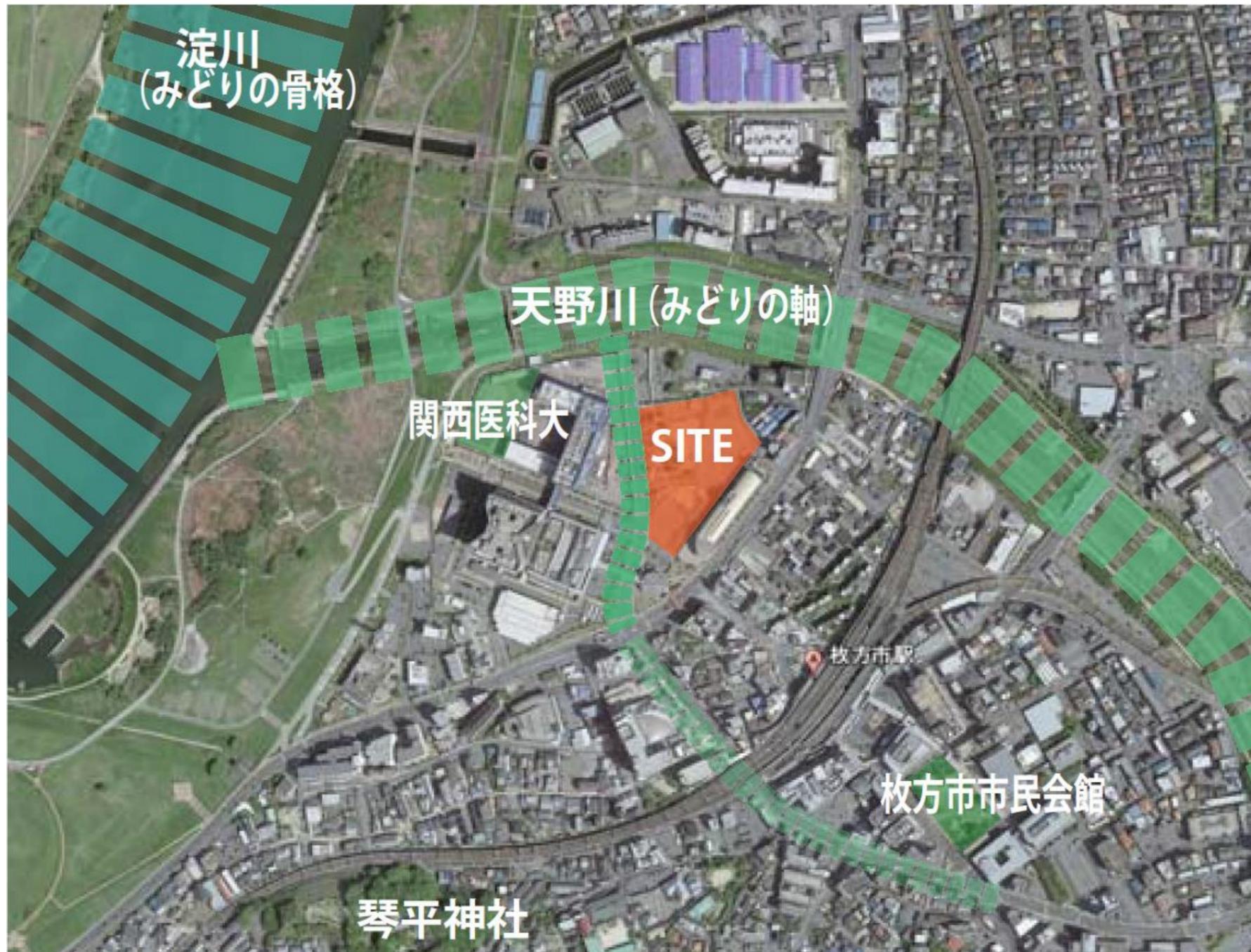


「文化芸術の場」と「豊かな緑」の織りなす空間

枚方市の新たなランドマークとして、多くの市民から永く愛される施設を目指した。

屋外には施設前広場として、市民が気軽に集える芝生の広場や、木陰の広場、ステージを設け文化芸術の場となる空間を点在させた。施設内では、中庭や軒先緑化による豊かな緑と自然光あふれる場が、エントランスロビーをはじめとした様々な活動拠点をつなぐ計画とした。

1. 緑と建築の融合



↑ 枚方市緑の基本計画



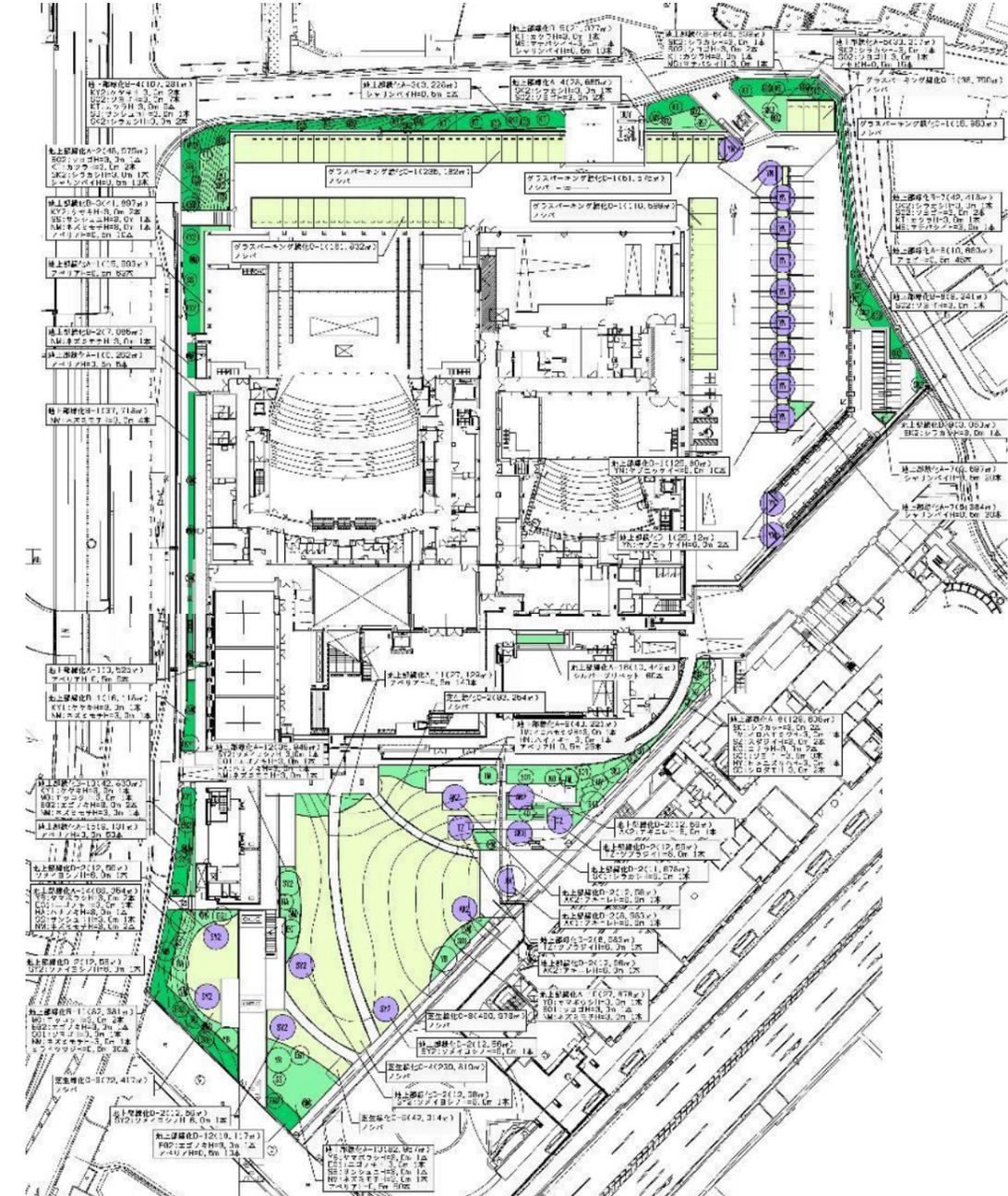
↑ 枚方市緑の基本計画 p.9より抜粋

枚方市緑化重点地区の中心となり模範となる緑化建築

1. 緑と建築の融合



周辺の水辺環境とも呼応し四季折々に変化する植栽計画



敷地面積に対する緑化率**30%**を達成

1. 緑と建築の融合



1. 緑と建築の融合



↑屋外ステージでのイベントの様子



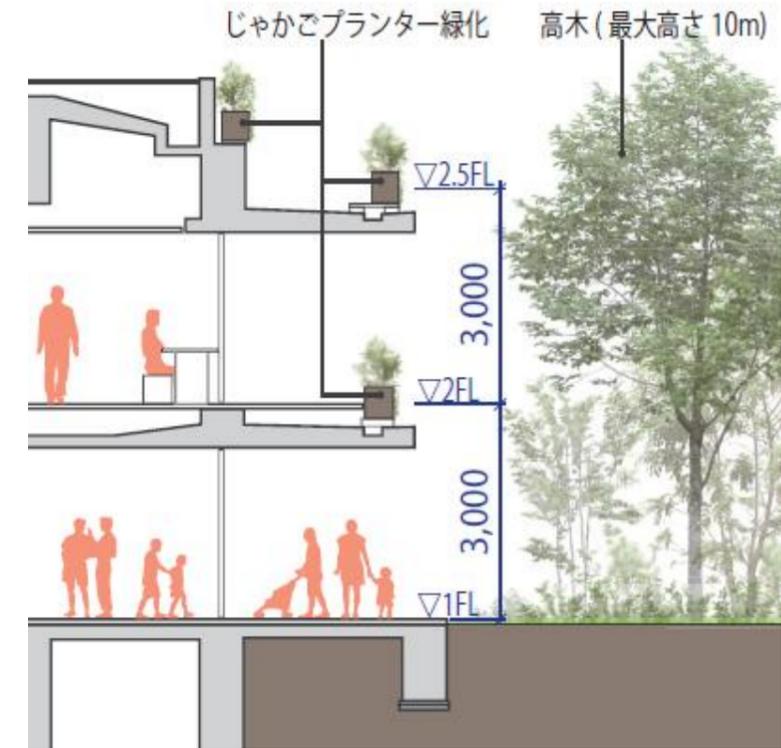
↑市民の憩いの場、木漏れ日の広場

休館日でも賑わう公園のようなオープンな広場

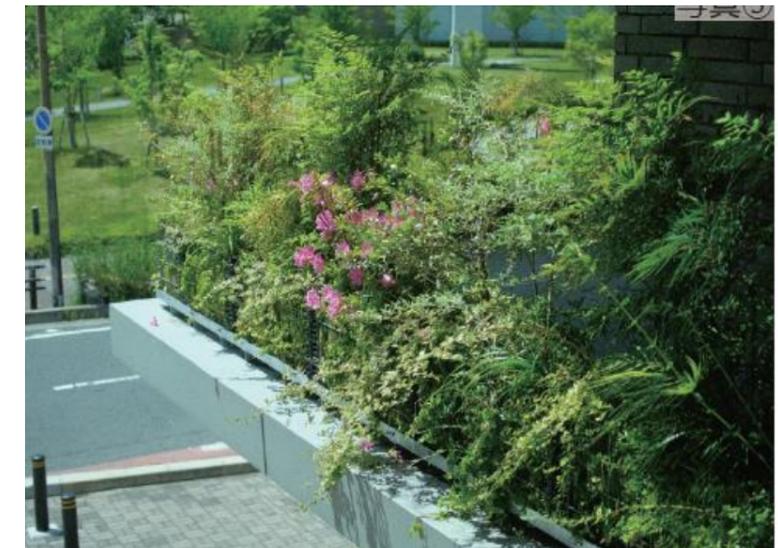
1. 緑と建築の融合



建物の各階には軒先緑化を連続させ身近にみどりを感じられる

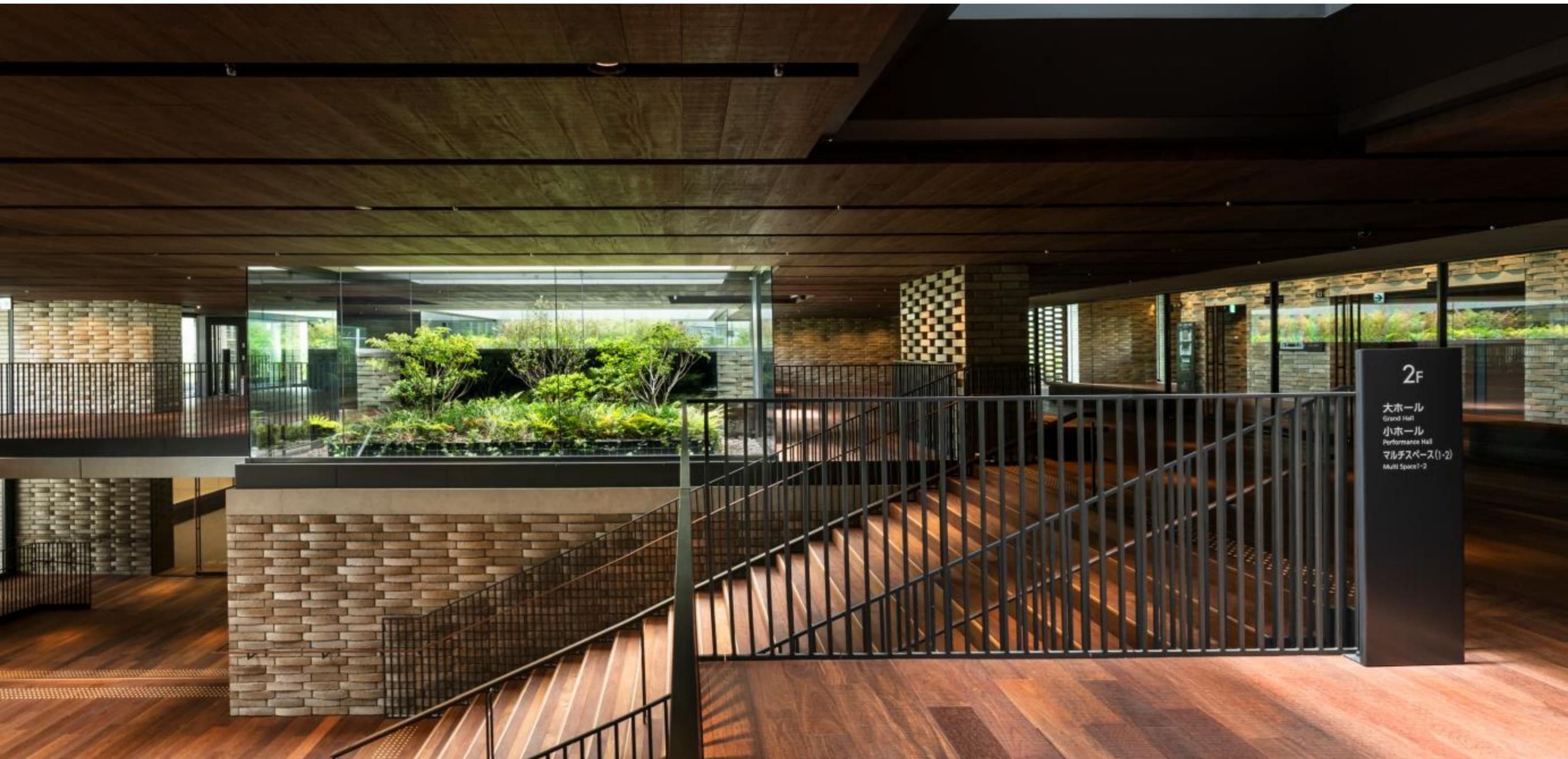


↑ 樹高と階高の関係



↑ 軒先緑化には四季に色づく植物を配植

1. 緑と建築の融合



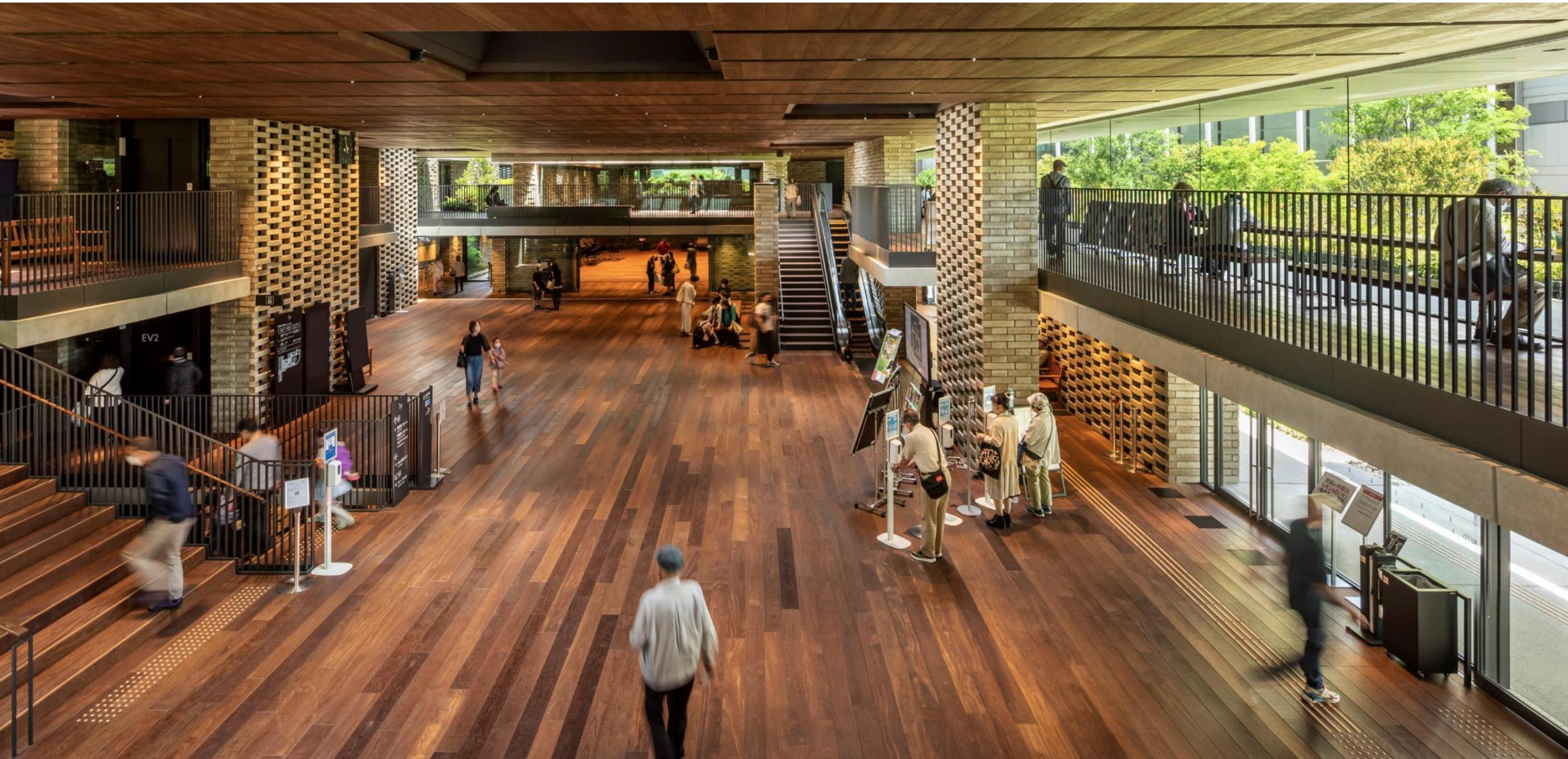
トップライトや光庭から自然光を取り込んだエントランスロビー

1. 緑と建築の融合



トップライトや光庭から自然光を取り込んだエントランスロビー

1. 緑と建築の融合

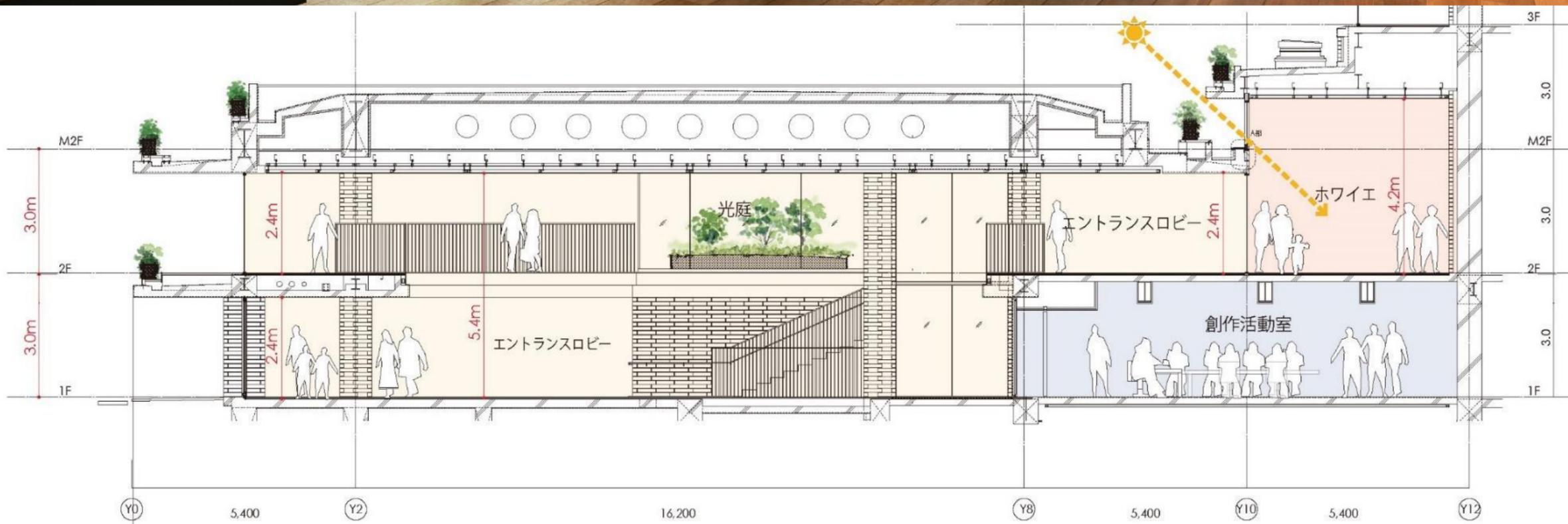


トップライトや光庭から自然光を取り込んだエントランスロビー

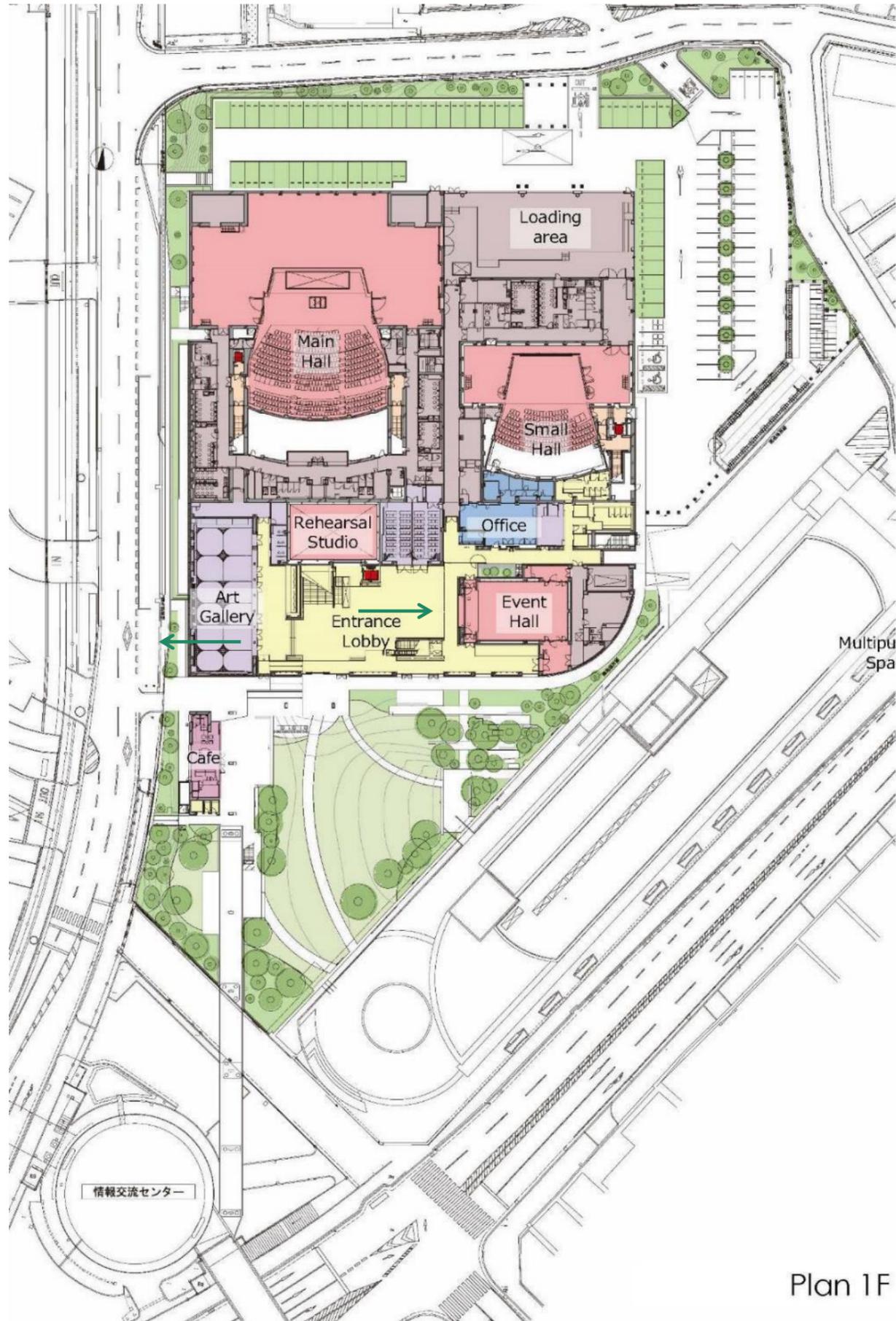
1. 緑と建築の融合



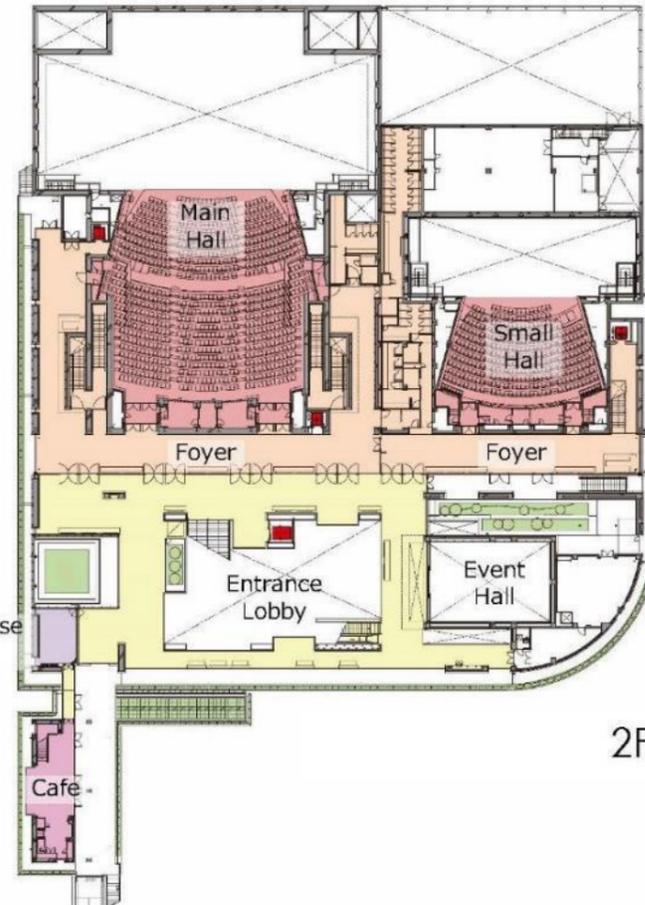
75M続く高窓から緑を通した優しい光が降り注ぐホワイエ



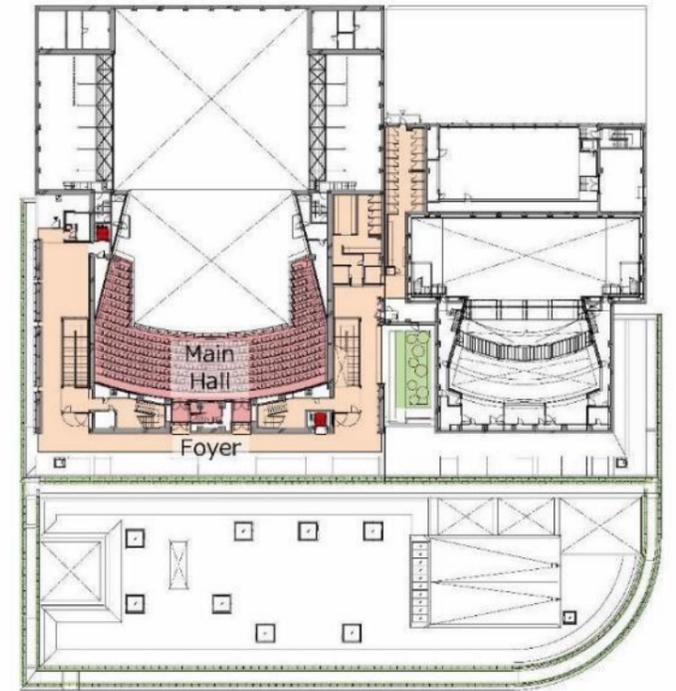
2. 必要最小限のコンパクトな計画



Plan 1F



2F



3F

2フロアを基本とする明解な平面構成

2層のエントランスロビーを中心に各機能を配置するコンパクトで分かりやすい明解な平面計画としている。

搬入出入口は北側に配置し、利用者動線と明確に分けた計画とした。管理しやすく出演者も使いやすいシンプルな動線計画を行っている。



SCALE = 1:800 / A3

0 10

100m

2. 必要最小限のコンパクトな計画



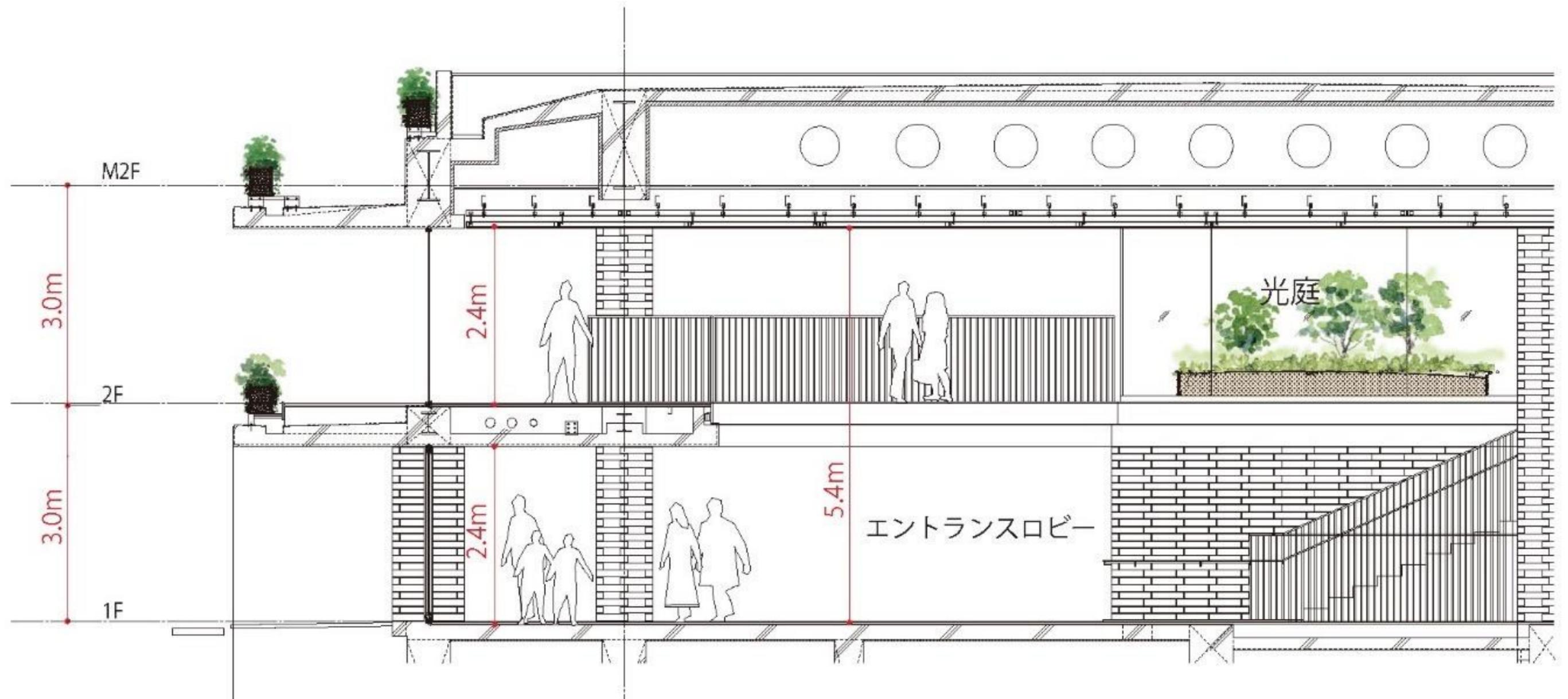
2F エントランスロビー

階高 3 m の親密なスケール

文化芸術拠点に相応しい上品で洗練された空間でありながら、市民の使いやすいスケールの寸法体系を追求した。階高を抑えたエントランスロビーや各ホールでは、そのコンパクトな計画ゆえの臨場感を楽しめる。

高さ方向だけでなく、通路幅や諸室の距離も見通しや親密さを確保する寸法とし、人の活動や豊かな緑が親密に感じられる空間としている。

2. 必要最小限のコンパクトな計画



階高 3 m の親密なスケール

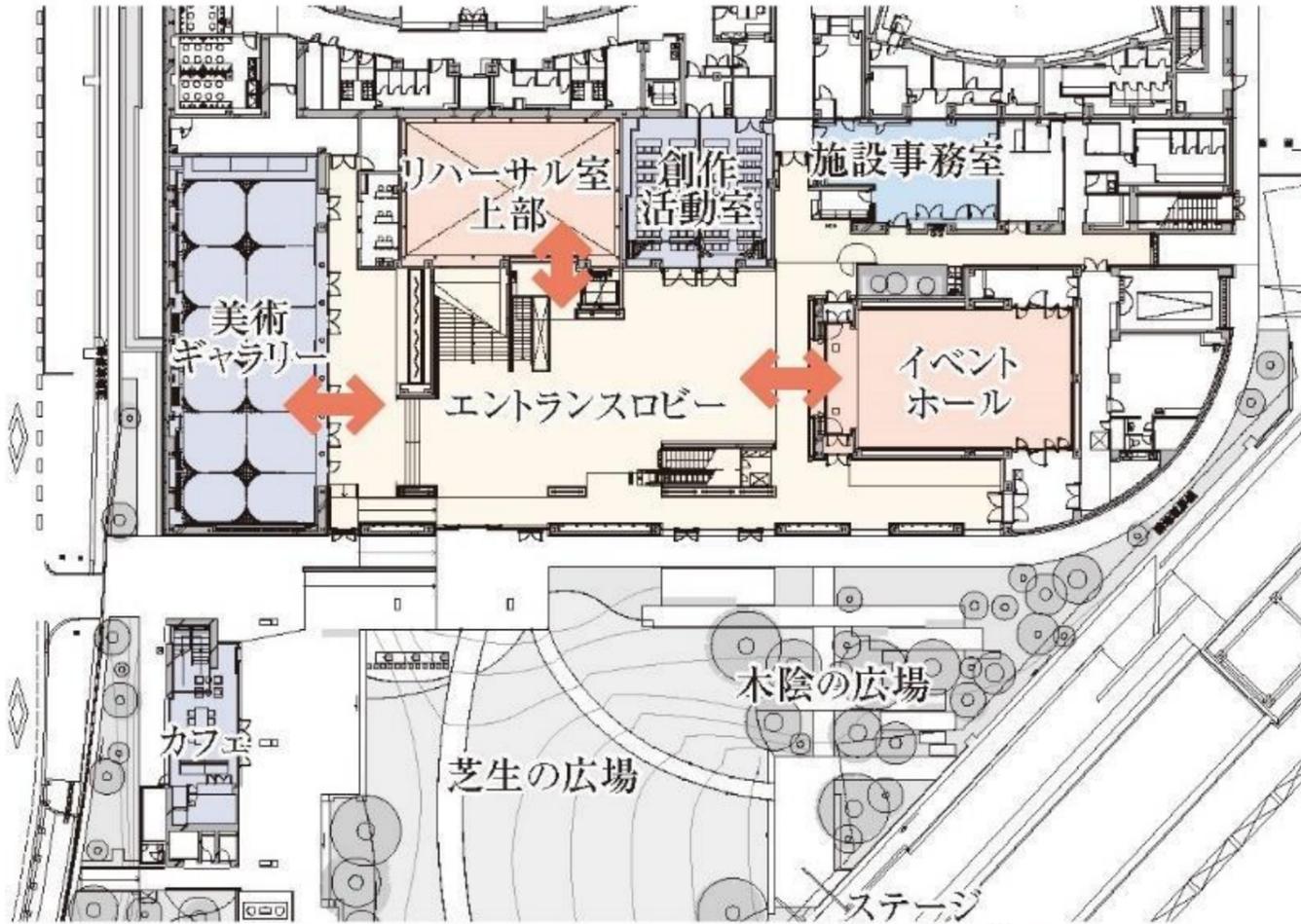
文化芸術拠点に相応しい上品で洗練された空間でありながら、市民の使いやすいスケールの寸法体系を追求した。階高を抑えたエントランスロビーや各ホールでは、そのコンパクトな計画ゆえの臨場感を楽しめる。

高さ方向だけでなく、通路幅や諸室の距離も見通しや親密さを確保する寸法とし、人の活動や豊かな緑が親密に感じられる空間としている。

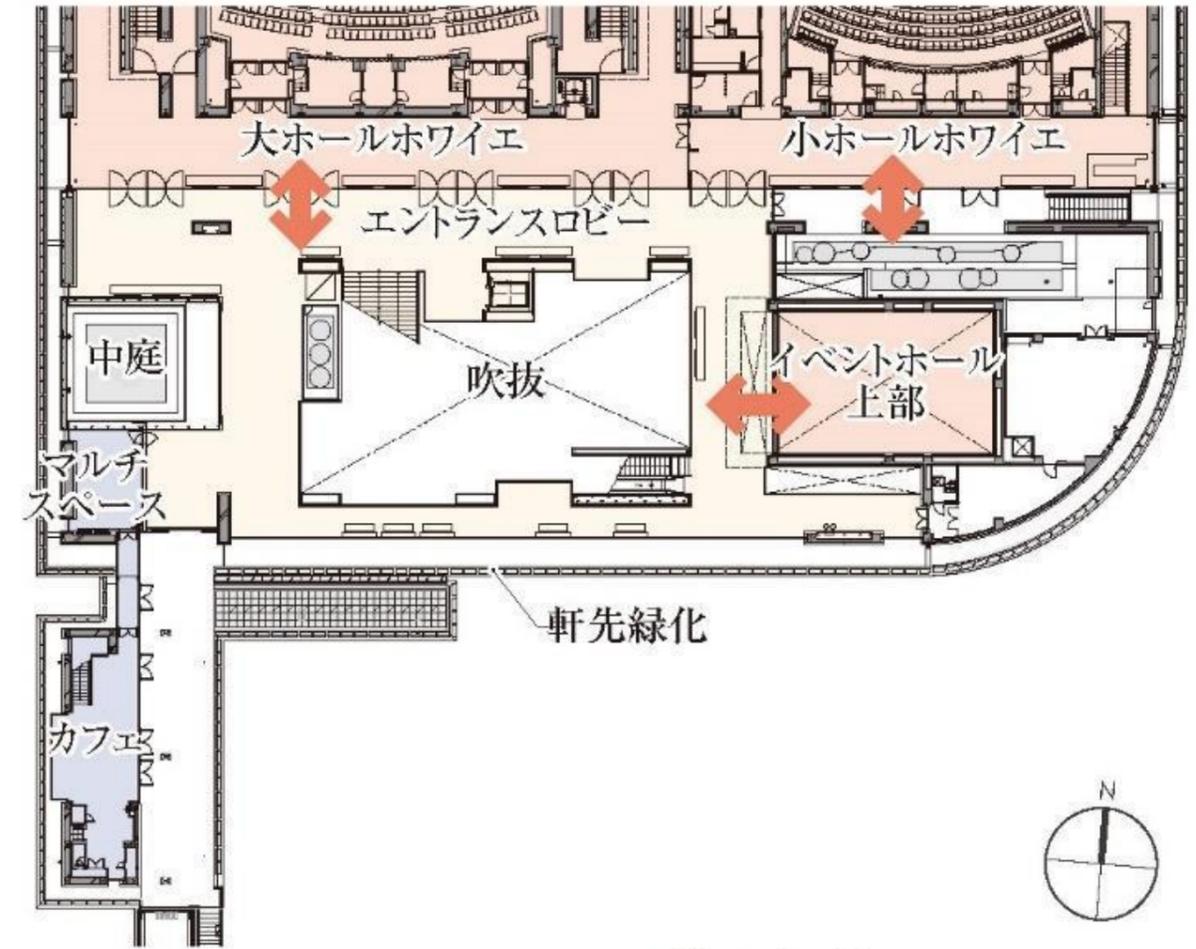
2. 必要最小限のコンパクトな計画



2. 必要最小限のコンパクトな計画



1階平面図



2階平面図

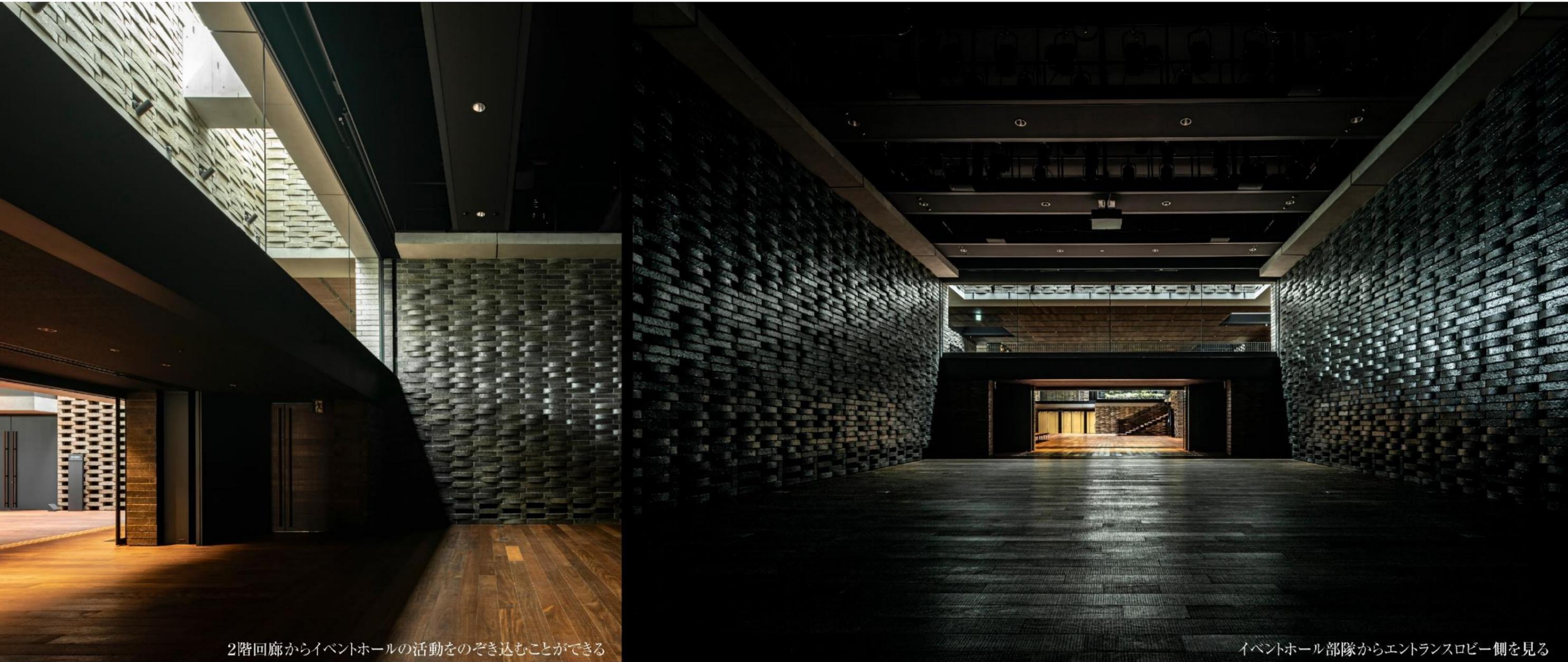
すべての機能が顔を出すエントランスロビー

施設の中心となるエントランスロビーは、利用者にとってわかりやすく、施設内の賑わいを感じられる空間となるよう、施設内の主要な機能が顔を出す計画とした。

2層構成のロビーは、歩くたびに、光・緑・人々の活動の様子が移り変わるシークエンスを意識した回遊性のある空間としている。

各機能をつなぐ回遊性により、市民芸術祭・大規模展覧会など、様々な市民活動に柔軟に対応可能な使いやすい施設を目指した。

2. 必要最小限のコンパクトな計画



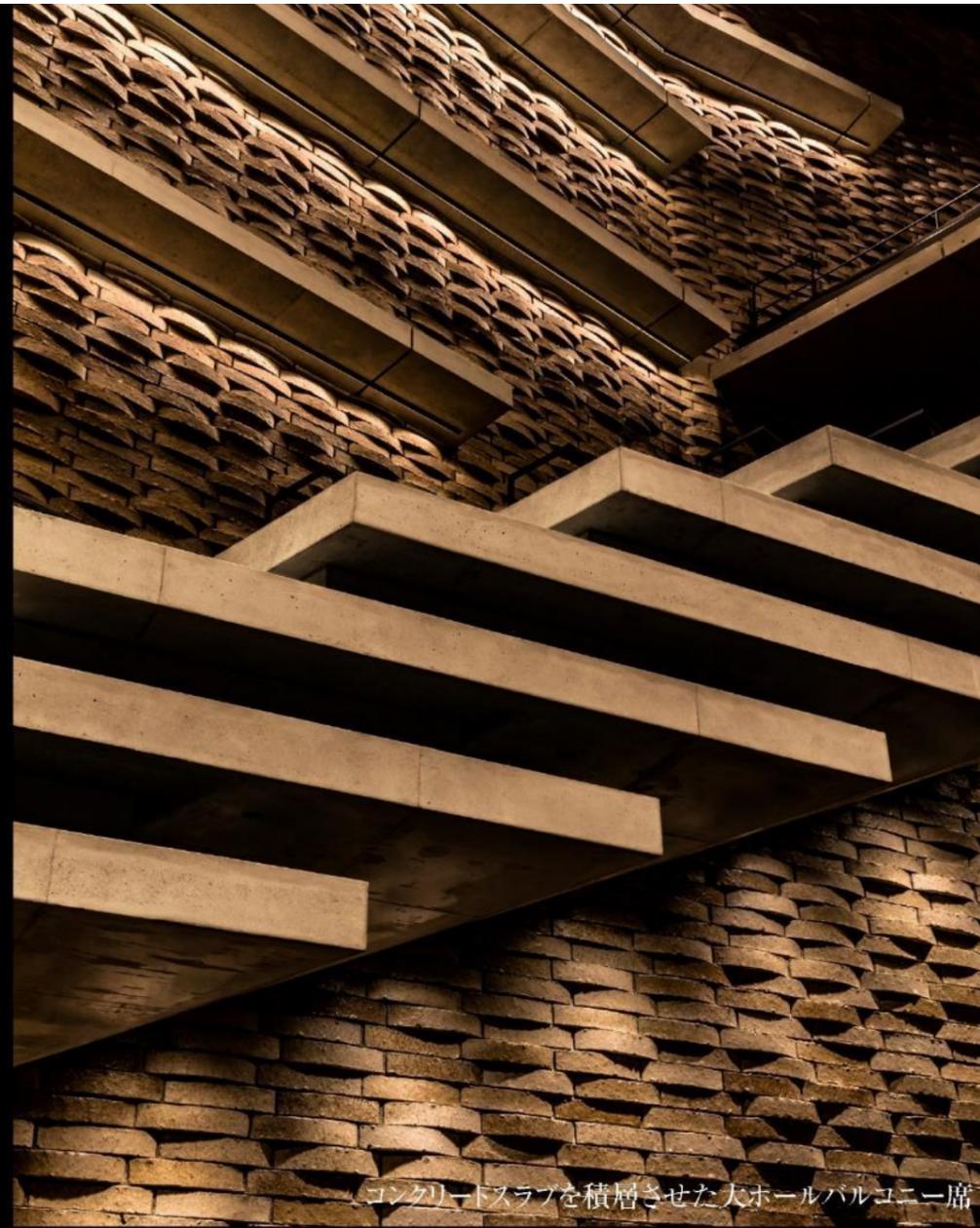
エントランスロビーと一体利用できる開かれたイベントホール

エントランスロビーの目玉となるイベントホールは入口扉を開放することでロビーと一体利用が可能な計画
2階ロビー回廊からも内部の賑わいを感じられる断面計画としている。

2. 必要最小限のコンパクトな計画



釉薬による光沢のある煉瓦(イベントホール)



コンクリートスラブを積層させた大ホールバルコニー席



杉材による小ホール音響反射板

年月の経過により風合いを増す材料を厳選 — 煉瓦・コンクリート・木材

煉瓦、コンクリート、木材、ガラスなど、使用材料は簡素かつ年月の経過により風合いを増す材料に厳選することで、人々に永く愛されその価値が永続する建築を目指した。

特に意匠性と機能性を兼ね備えた主材料として採用した煉瓦は、3つのホール内装にも使用しており、4種類の断面形状の煉瓦を組み合わせることで、ホールの音環境として重要な音の拡散・反射性能を実現しつつ、陰影をもった奥行き感のある表情を空間に与えている。

2. 必要最小限のコンパクトな計画



煉瓦に包まれた大ホール：コンパクトに設えたからこそその「臨場感」を味わえる大ホール
(大阪フィルハーモニー交響楽団特別講演時)

コンパクトに設えたからこそその「臨場感」を味わえる3つのホール

3つのホールとも、主要反射面である音響反射板と客席の側壁は、低音域まで反射可能な剛性と表面の適度な凹凸が得られるレンガ積み仕上げを採用した。

数種類のレンガを用いて様々な積み方とすることで拡散性を高めている。大ホールはより多くの反射音確保を狙い、舞台から客席にかけて連続する庇状の反射面を設けた。矩形平面のイベントホールも壁面を凹凸のあるレンガ積み仕上げとし、フラッターエコーを防止している。

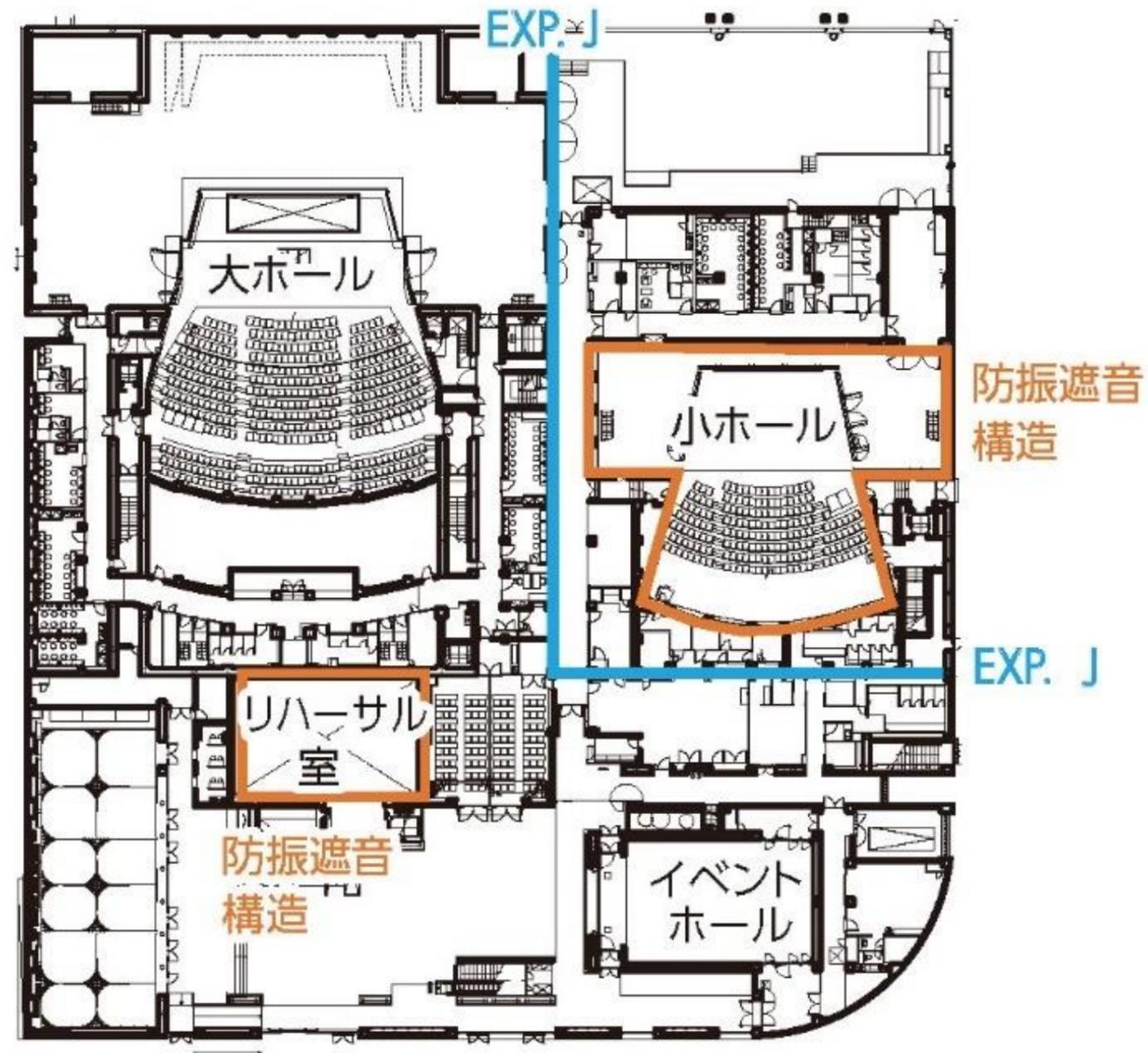
2. 必要最小限のコンパクトな計画



多用途に対応可能な3つのホール

様々な規模・用途の文化芸術活動に対応可能なそれぞれ特徴を持った3つのホールを計画した。大ホールはオーケストラやオペラやライブ演奏など様々な用途に対応できる高性能のホールとして、オーケストラピットや舞台迫などの特殊舞台機構も備える計画としている。市民のピアノコンサートや小演劇などに使用される小ホールは、大ホール同様高機能な舞台設備を備えつつも、客席と舞台が近く臨場感を味わえる空間を目指した。固定席を設けないイベントホールは、講演や小演劇、パーティ利用など、より多目的にカジュアルに市民が利用できるホールとして、エントランスビーに対してオープン計画とした。

2. 必要最小限のコンパクトな計画

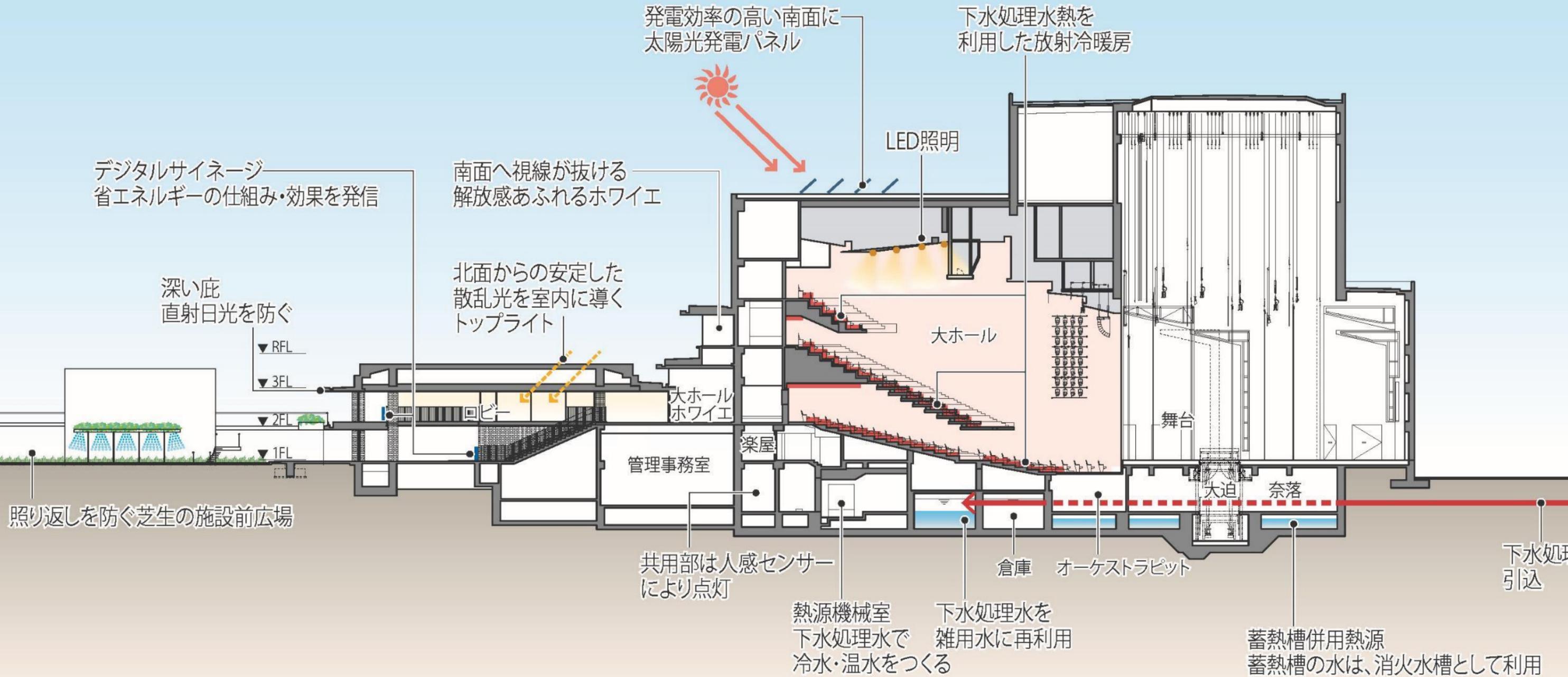


同時利用を可能にする高い遮音性能

大音量の発生音が想定されると共に静けさを要する大・小ホール間は、小ホール周囲のエキスパンション・ジョイントと小ホールの防振遮音構造の採用で高い遮音性能を実現した。

小ホールの壁面は仕上げのレンガが防振遮音層としても機能している。イベントホールは、エントランスロビーと一体空間とするための1階の大開口を移動間仕切壁および出入扉で2重化し、2階のガラス面は15mm+15mmの合わせガラスとして遮音性能確保に配慮した。大ホールの斜め下に位置するリハーサル室については防振遮音構造を採用した。

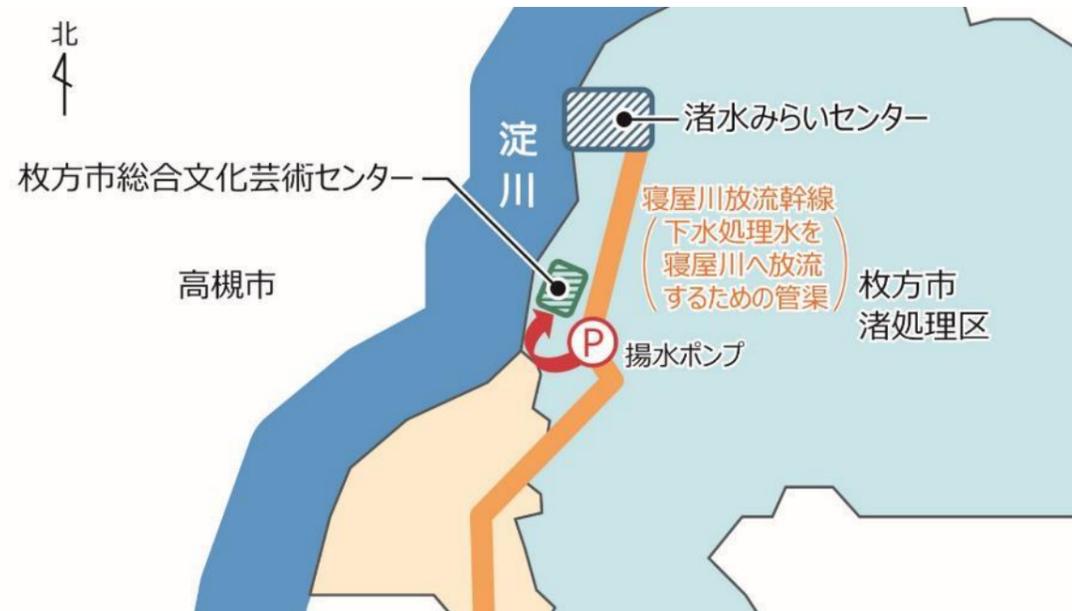
3. 自然エネルギーと未利用エネルギーの有効利用



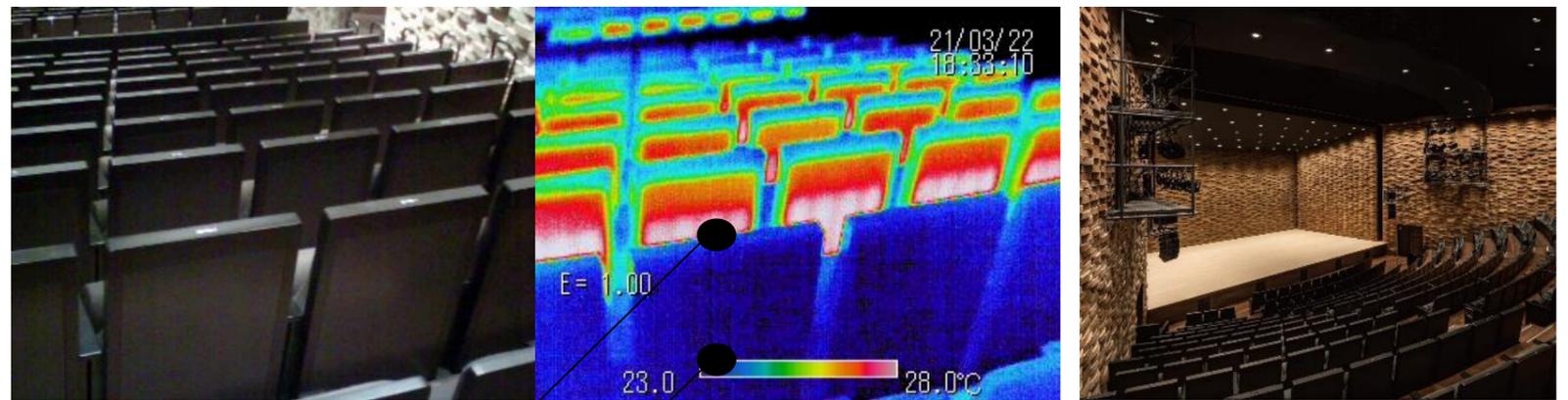
各種環境配慮計画により外皮性能**BPI=0.50**、エネルギー性能**BEI=0.60**

CASBEE **S**ランク

3. 自然エネルギーと未利用エネルギーの有効利用

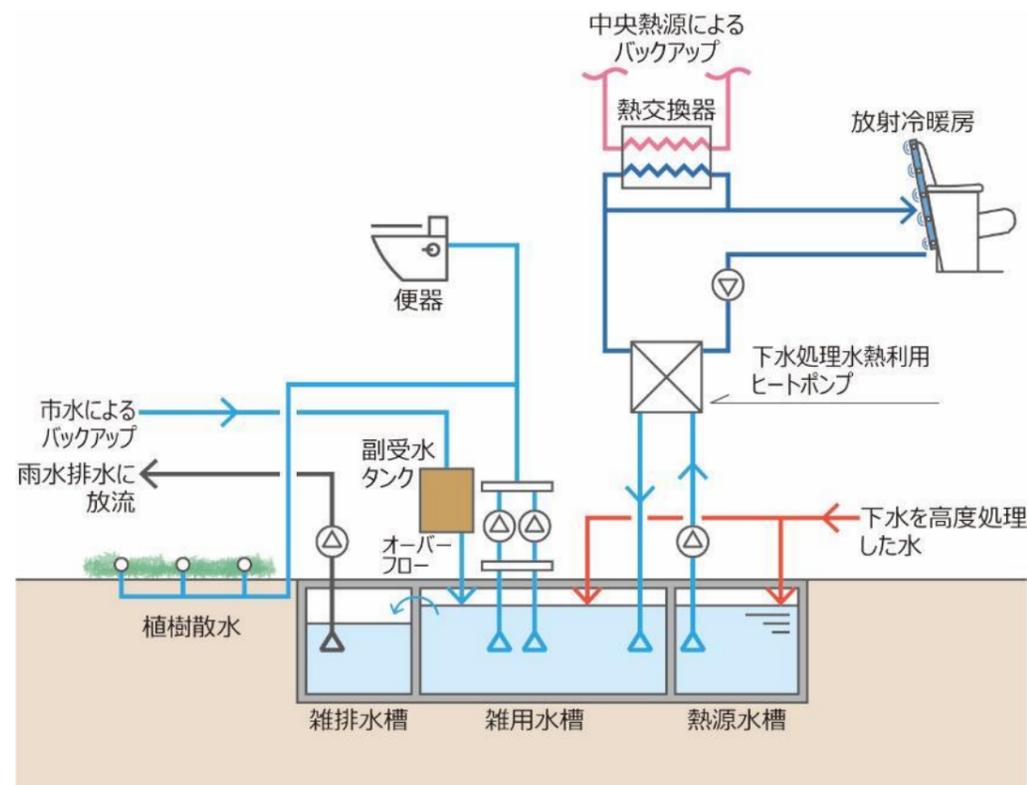


渚水みらいセンターの処理水を活用

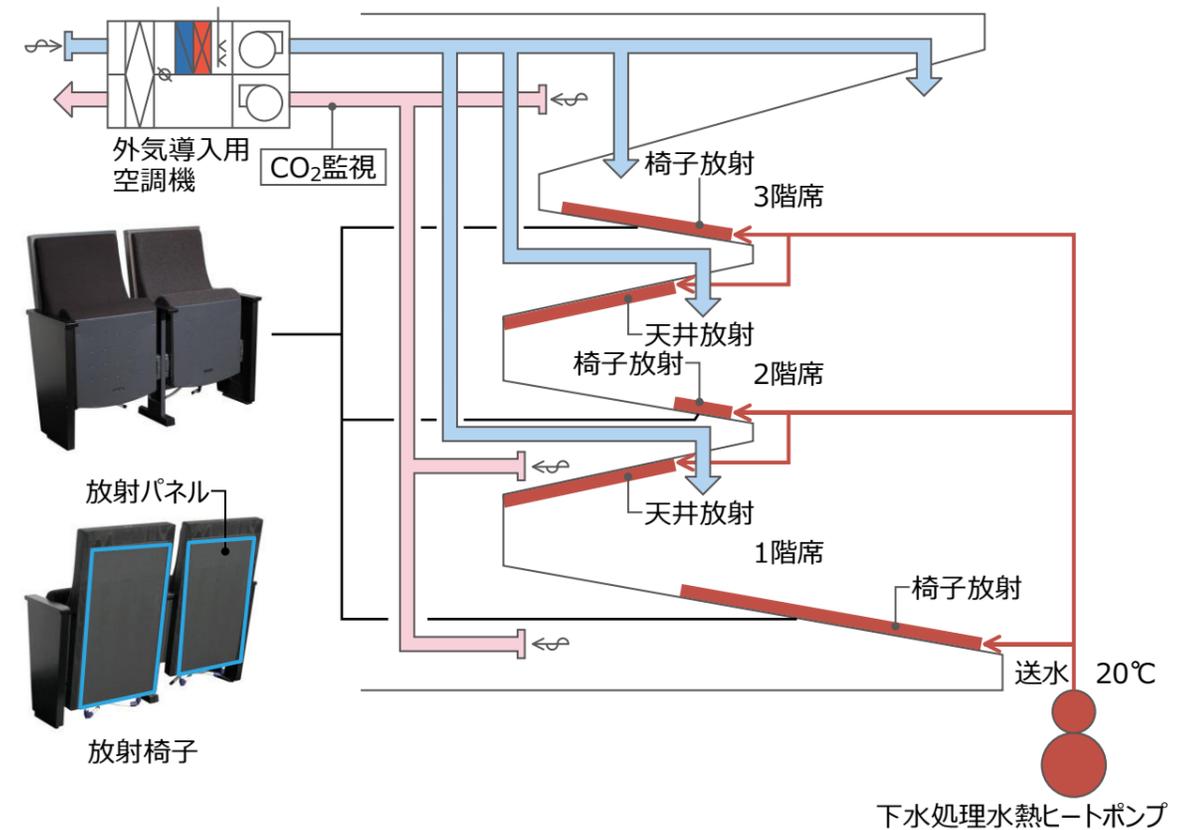


放射パネルあり

放射パネルなし



下水道高度処理水_活用システム

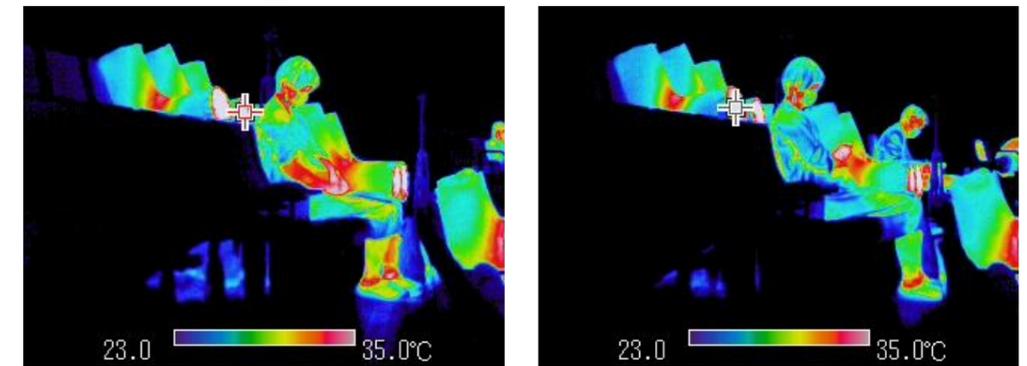
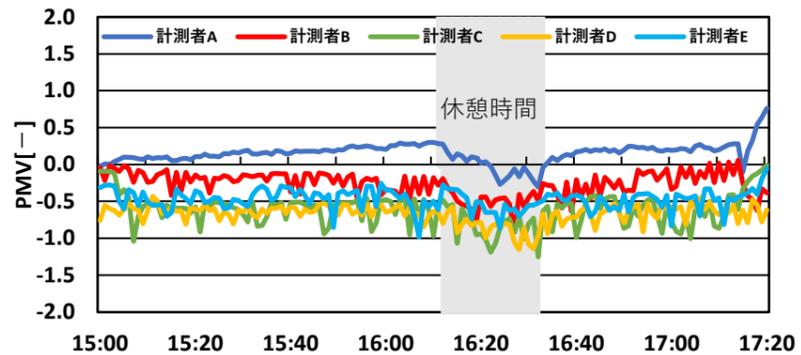
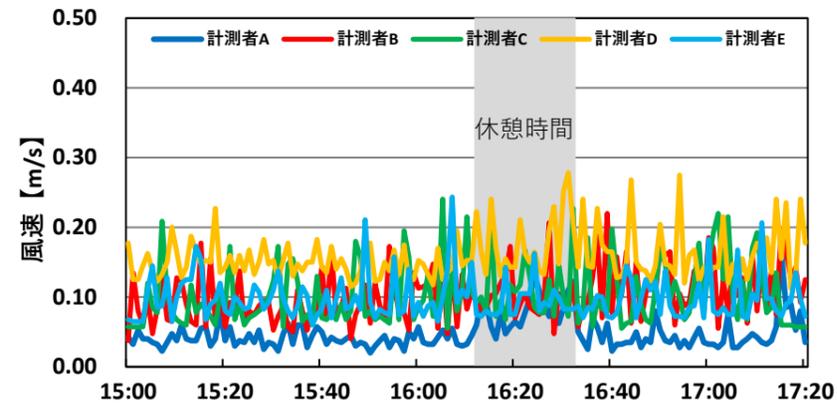
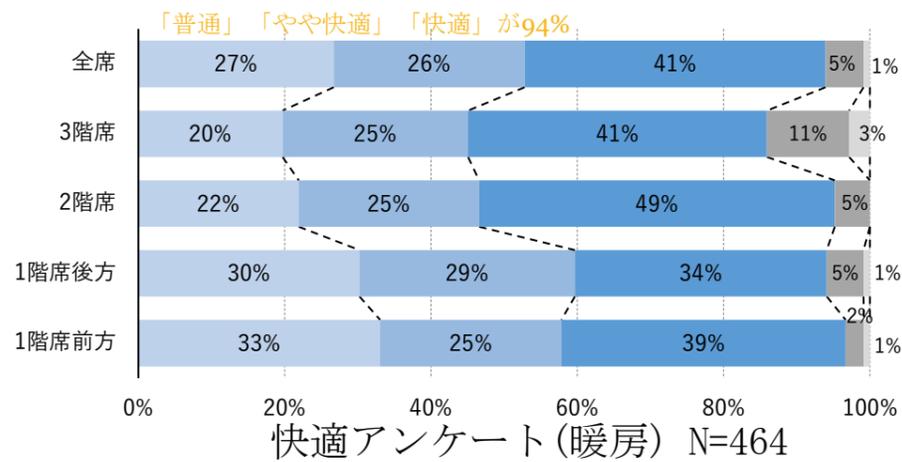
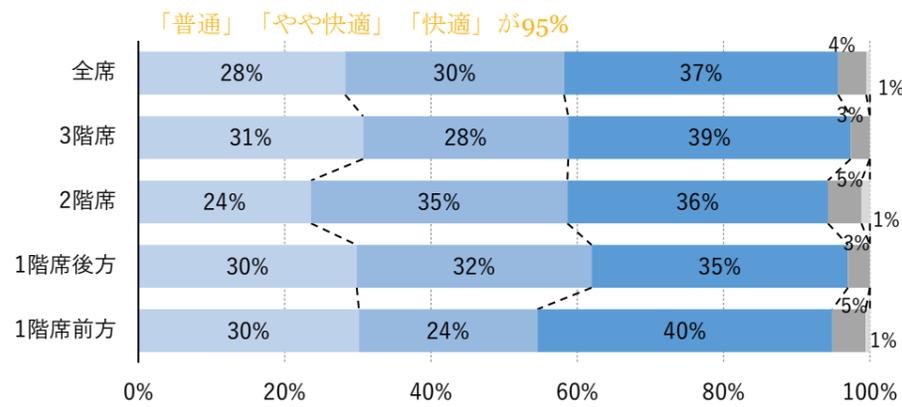


劇場初_放射システム

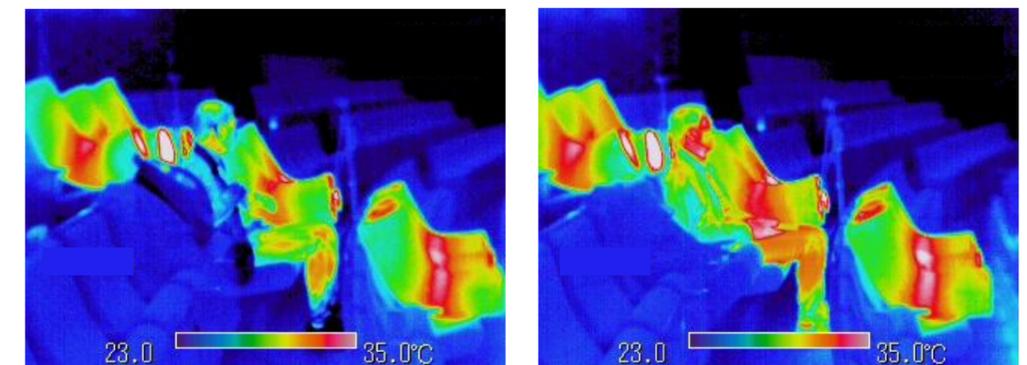
劇場初の放射空調_下水道高度処理水を「水」と「熱」に利用

3. 自然エネルギーと未利用エネルギーの有効利用

長時間の観劇に最適な、風を感じない快適な放射空調を実現



冷房：着席時 → 60分後

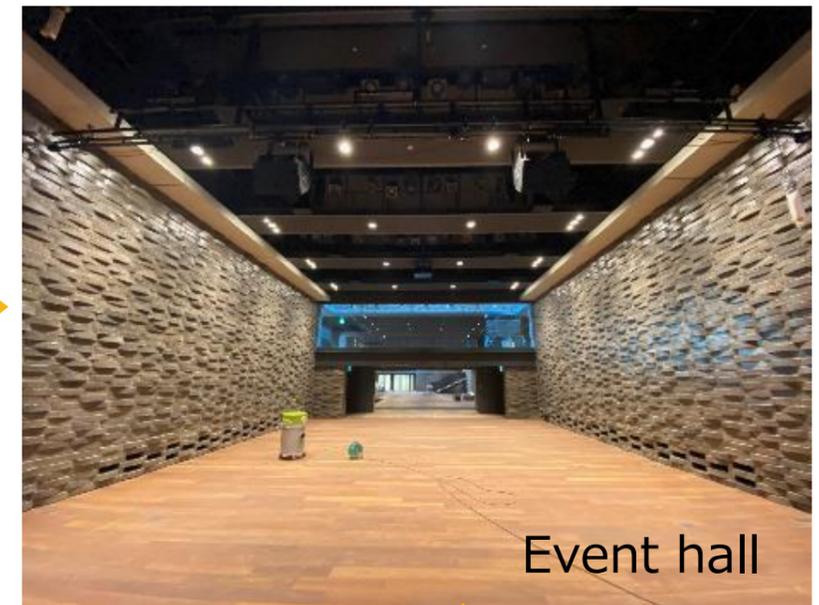


暖房：着席時 → 60分後

劇場初の放射空調_下水道高度処理水を「水」と「熱」に利用

3. 自然エネルギーと未利用エネルギーの有効利用

環境配慮とBCP対応の一石二鳥の電気自動車逆送電システム



環境配慮とBCP対応の一石二鳥の電気自動車逆送電システム



芝生広場夜景:温かい光で文化芸術の世界へと人々を誘う



NIKKEN

EXPERIENCE, INTEGRATED